

ISSUE

[繋ぐ]

愛でる Special Issue:

「美濃和紙」をまとった 幻想的なあかりの展覧会

先どる

奥行きある色彩と表情を楽しめる
京都・和紙専門店のネイルキット

OJO+ Column

世界的アパレルブランド「ISSEY MIYAKE」が
OJO+を使用した新作コレクションを発売

「美濃和紙」をまとった 幻想的なあかりの展覧会

秋の深まりを感じさせる10月。岐阜県美濃市にある風致な町並みが無数の幻想的なあかりに包まれます。今年で30回目を迎える「美濃和紙あかりアート展」は、1300年の歴史を持つ美濃和紙と光源を用いた立体造形作品を公募し、江戸情緒の香る町並みに展示、コンテストを行うイベントです。「日本三大和紙」のひとつに数えられる上質な和紙を透過したやわらかい光には、新しい和紙の魅力とそこに暮らす地域の人々の思いが詰まっています。

KPPグループホールディングスが発行するTSUNAGU（繋ぐ）は“紙の魅力再発見”をテーマに、紙と文化・紙と事業・紙と人を「繋ぐ」広報誌です。

愛でる P01

「美濃和紙」をまとった
幻想的なあかりの展覧会

先どる P07

奥行きある色彩と表情を楽しめる
京都・和紙専門店のネイルキット

拓く P09

従来品の環境負荷低減型
フェイスカバーをさらに改善、
原材料の植物由来100%を実現

OJO+ Column P10

世界的アパレルブランドが
OJO+を使用した新作を発売

伝える P11

信念を貫き通したテレビマンの
志が思い起こされる手紙

深める P13

KPPグループの最新ニュースを
キャッチアップ

訪ねる P15

新たなコミュニケーションを生み出す
注目のブックカフェにフォーカス

作る 付録

紅葉した落ち葉でつくる
「オートム・ミニリース」

和紙の特性を生かした独創的な作品が闇夜に描く 美濃和紙のあかりで彩られた光のエキシビション

名古屋から車で1時間ほど北上した盆地状の地形にある岐阜県美濃市。古くから和紙産業とともに栄えた街であり、厳選された素材を用いて伝統的な手漉きの製法によってつくられる美濃和紙は、美しく丈夫な最高級品として定評のある和紙です。その歴史は古く、奈良の正倉院には702年に美濃和紙でできた戸籍用紙が所蔵されており、1300年以上前に漉かれた和紙が今



も残っていることから、その強靱な耐久性や保存性が実証されています。なかでも厳格に定められた原料と製法によって漉いた本美濃紙は1969年(昭和44年)に国の重要無形文化財に指定、2014年(平成26年)にその伝統技術がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、その優雅な風合いと繊細な機能を持つ美濃和紙は、日本のみならず、世界の人びとの心を魅了しています。

「美濃和紙あかりアート展」は、毎年10月に開催される晩秋の風物詩です。美濃和紙を使ったあかりのオブジェを全国から公募し、応募があつたすべての作品を重要伝統的建造物群保存地区に指定される「うだつの上がる町並み」に展示。全国から寄せられた作品は一般部門と小中学生部門に分けて審査され、大賞をはじめとする各賞が決定されます。第1部では今年度の応募作品の展示・審査を実施、第2部では歴代の優秀作品と入れ替えられ、江戸情緒の残る町並みと美濃和紙に包まれたやわらかい光が調和する幻想的な情景は、国内はもとより海外

にも開催を待ちわびるファンが多くいます。「和紙の新しい魅力を発信するためにスタートしたのが、美濃和紙あかりアート展」なんです。そう話すのは、美濃和紙あかりアート館の館長を務める古川英孝さん。和紙は古くから日本の文化に欠かせないものとして日本人の生活に深く根付いてきたものの、生活様式の変化などを背景に日常では和紙に触れる機会が減少。美濃和紙あかりアート展は、和紙の特長を見直し、その魅力を再発見してほしいという思いからはじまったのです。「美濃和紙の素材感と和紙を通した光の見せ方など、工夫を凝らした新しい表現作品に毎年驚かされています。美濃の古い町並みに溶け込む和紙を通した光の美しい情景とともに、和紙の新しい可能性にも注目してほしいですね」。

古川さんが館長を務める「美濃和紙あかりアート館」は、美濃和紙あかりアート展の情景を再現したミュージアムです。1994年の第1回から昨年開催された第29回までに入賞した作品が定期的な入れ替えを経て



「美濃和紙あかりアート館」の建物は、昭和16年に美濃和紙産業会館として建てられた近代木造建築物で、国の登録有形文化財に指定されている。1階は、美濃和紙のあかりアート作品を購入できるショップ、2階は歴代入賞作品の展示スペースになっている。



古川 英孝さん
美濃和紙あかりアート館館長
旧今井家住宅・美濃資料館館長

展示されているので、幻想的な雰囲気も1年中堪能することができます。アートの高度な技法が用いられた一般部門の作品はもちろんのこと、自由で豊かな発想から手づくりされた小中学生の作品も見どころのひとつです。「第15回の小中学生部門で大賞を受賞した『にじをたべたひつじ』は、当時、小学4年生の児童がつくった作品です。彼女はすでに大学を卒業して今は小学校教員として働いていますが、先日、彼女が担任をしている児童が来館し、「先生の作品を観に来ました」と報告してくれて、美濃という地域の中で世代を超えて和紙の伝統文化が受け継がれていることがうれしかったし、このイベントが地域社会のつながりを生んでいるのだと改めて実感しました」と古川さん。また、美濃和紙あかりアート展の開催には、子どもから大人までたくさんの方がボランティアとして参加しています。和紙とともに暮らす人たちの思いが詰まっているからこそ、観る者は美濃和紙のあかりにほのかな安らぎを感じるのかもしれない。

第15回の小中学生部門で大賞を受賞した作品「にじをたべたひつじ」。天皇后(当時)両陛下が来館された際、色とりどりの和紙を使ったこの作品を絶賛された。



美濃和紙あかりアート館

住所：岐阜県美濃市本住町1901-3
 開館時間：[4月~9月] 9:00~16:30
 [10月~3月] 9:00~16:00
 ※最終入館は閉館の15分前まで。
 定休日：火曜(祝日の場合はその翌日)
 年末年始(12月29日~1月3日)・祝日の翌日
 入館料：大人(高校生以上)200円
 TEL：0575-33-3772

美濃和紙の良さを知る地元の職人として、 説得力のある作品をつくり続けていきたい。

加納英香さんは、うだつの上がる町並みで営む「らんたんや」の店主として美濃和紙を使った提灯の製造・販売を手掛ける職人です。また、独創的な作品を創作する作家でもあり、美濃和紙あかりアート展では唯一、一般部門の大賞を二度受賞。美濃和紙の魅力を存分に引き出した作品は、会場を訪れる多くの来場者の心に響く、圧倒的な存在感を放っています。第30回の節目を迎えた美濃和紙あかりアート展の開催を前に、日常的に美濃和紙に触れている地元出身の職人としての思いを伺いました。

私の実家は祖父の代から三代にわたって職人をして美濃市唯一の提灯店です。大学を卒業して「美濃和紙の里会館」で手漉き和紙体験

験の指導員として勤務、その後一般企業に就職したのですが、30歳になって家業を継ぐことを決断。祖父から受け継いだ提灯の木型や父が自ら手づくりした道具を譲り受け、父の元で仕事を覚えたのちに自分の店を開きました。

平日頃からさまざまな和紙に触れていることもあって、手漉きの美濃和紙であれば、誰がつくったのかある程度見当がつかます。手漉き和紙は職人さんの個性が出るものなので、質感や色の微妙な差異、広げたときの音にも違いが出る。美濃和紙は本当に奥深いものなので、決して「ゴールにたどり着くことはない」と思いますが、その魅力を最大限に生かした提灯づくりを学び続けたいと思っています。



店内には、本美濃紙を使用した大型の提灯のほか、部屋に安らぎをもたらすランプシェード、女性ならではの感性から創作されたかわいい動物たちをモチーフにしたミニサイズのランタンなども販売。店頭では提灯づくりの実演も見学することができます。



加納 英香さん
提灯職人／らんたんや店主



第17回(2010年)一般部門大賞作品「てんこもり」



第29回(2022年)一般部門大賞作品「ホシノヨミガエリ」



らんたんや
住所：岐阜県美濃市加治屋町1968
定休日：水曜
TEL：0575-35-1409



HPは
コチラを
チェック!



美濃和紙の伝統と未来を紹介する体験型ミュージアム

美濃和紙の里会館

美濃和紙の歴史や技術を学び、体験を通してその魅力に触れることができるミュージアムが、この「美濃和紙の里会館」です。美濃和紙の製造工程、道具などを映像とともにわかりやすく紹介する展示、徳川家康公が関ヶ原の合戦で使ったと伝わる「采配(レプリカ)」(写真:右上)をはじめ、和室と洋室の生活空間に和紙を取り入れたルームセットなども見ることができます。また、手漉き和紙職人が使うものと同じ道具と楮100%の原料を使用し、伝統の流しすき技法を行える「紙すき体験(有料)」では、オリジナル和紙づくりに挑戦することができます。岐阜県産の食材を使ったオリジナルメニュー(要予約)を楽しめるレストラン、和紙雑貨やステーションナリーを揃えたショップも併設されているので、さまざまな視点から美濃和紙の魅力を味わうことができます。

美濃和紙の里会館は、1300年の歴史を持つ美濃和紙の伝統を受け継ぐとともに、その素晴らしい未来への可能性を発信する施設です。伝統の技を誇る職人が手づくりで仕上げた道具による紙すき体験もできますので、その魅力を五感で堪能していただきたいと思います。

美濃和紙の里会館
川島 誠次さん



■美濃和紙の里会館 住所：岐阜県美濃市蕨生1851-3 TEL:0575-34-8111 HP:www.city.mino.gifu.jp/minogami/

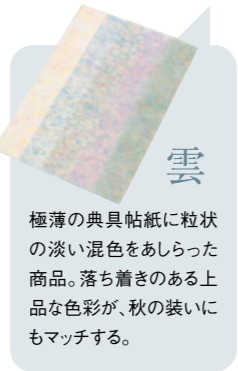
第30回 美濃和紙あかりアート展

会期：【第1部】10月8日(日)～21日(土)
※今年度の応募作品の展示
【第2部】10月22日(日)～11月30日(木)
※過去の入賞作品を展示
点灯時間は17:00～21:00
会場：うだつの上がる町並み／美濃市内施設
お問合せ：一般社団法人 美濃市観光協会
美濃和紙あかりアート展実行委員会事務局
TEL：0575-35-3660
料金：見学無料
URL：https://www.akariart.jp/



「うだつの上がる町並み」には、江戸時代から続く酒蔵「小坂酒造場」や古民家を改装したおしゃれなカフェも多数点在しています。作品にあかりが灯る夜間だけでなく、1日を通して美濃を楽しんでください。また4月には、桜色に染めた和紙の花をつけた花みこしが市内をまわる「美濃まつり」も開催されます。美濃市にぜひ足を運んでみてください。

一般社団法人 美濃市観光協会
事業推進係長
坂口 あゆみさん



雨

質感や染め方の異なる複数の和紙を同梱。青色を基調として、濃淡やトーンの異なる繊細な色調を味わえる。

森

レースのような穴の空いたデザインと強い繊維感が特長の落水紙。繊維を散らしたデザインなどアレンジしやすい。

山

左から右へと、季節ごとに移り変わる山の風景をイメージ。不規則な縞模様を回転させることで好みの模様を楽しめる。

雲

極薄の典具帖紙に粒状の淡い混色をあしらった商品。落ち着きのある上品な色彩が、秋の装いにもマッチする。

月

和紙を手折りにして染めたことにより偶発的に生まれる美しいグラデーションを活かした、幅広い色調を楽しめる。

奥行きある色彩と表情を楽しめる 京都・和紙専門店のネイルキット

職人の手仕事によって生み出される和紙の繊細な質感と、絵の具が水ににじむようなニュアンスのある表情の染め柄。この「かみっこネイル」は、和紙ならではの長をネイルパーツに応用した独創的なセルフネイルキットです。日常的に和紙に触れる機会を創出したいという思いから商品化されたこの「かみっこネイル」の魅力について、考案者として開発に携わった京都 楽紙館の土山遥香さんにお話をうかがいました。

—商品のラインナップを教えてください。

和紙そのものが天然素材ということもあって、自然をテーマにした「月・雲・山・森・雨」という5商品を展開しています。「月」「雲」「山」にはそれぞれ染め方の異なる典具帖紙*1、「森」には落水紙*2を使用しています。残りの「雨」は多種混合の商品として、典具帖紙と落水紙の両方の質感を楽しむことができる商品です。どの商品とも1枚の和紙のなかに微妙に異なる色合いが混色されているので、その日の装いや気分に合わせてカラーリングをお選びいただければと思っています。

—商品化に至るまでの経緯を教えてください。

7年前、私が個人的に和紙を使ったネイルの画像をSNSに投稿したのが発端です。その後、しばらく中断していましたが、和紙の新たな使い道を探るなかでSNSでの投稿を再開。会社の後押しを受けて商品化を検討することになりました。まずは一般の方の反応を確かめるために昨年11月、クラウドファンディングに挑戦し先行販売を開始。目標額を大幅に超える資金が集まり、今年4月に一般販売を開始しました。ネイルが入り口ではありますが、和紙に興味を持っている方が多くいることを知り、この「かみっこネイル」が和紙の新しい用途や可能性を示すきっかけになればと思っています。

*1「典具帖紙」…良質の楮を原料につくる極薄の和紙。

*2「落水紙」…和紙を濡く段階で噴霧し、水滴模様を表現した和紙。



京都 楽紙館

きょうとらくしかん。創業111年を迎えた老舗の紙・紙製品の卸売・小売を行う、上村紙株式会社運営する和紙専門店。全国の産地から取り寄せた約5,000点の和紙のほか、和紙を中心とした小物や雑貨、自社のオリジナル商品など、バラエティ豊かな商品を取り揃える。京都文化博物館に併設。

—商品開発で特に苦労したことは？

和紙の美しい染め柄が確認できるように、パッケージの仕様やデザインにもこだわりました。それ以上に、当店で扱う数千種類の和紙から各商品のテーマに合うものを選び、色を決める作業は、同僚の力を借りながら時間をかけていてねいに取り組みました。

—具体的な使い方を教えてください。

市販のベースコートやベースカラーの上に接着剤代わりにトップコート塗り、和紙を貼ったうえで、はみ出している部分をカットします。和紙は、切りたい部分に水を含ませた筆でなぞり、ふやかせてちぎる「水切り」という方法でカットできます。不要部分を取り除いたのち、毛羽立った和紙の繊維を整えてトップコートをしっかり塗っていただければ、ネイルデザインがきれいに仕上がります。和紙を貼るだけで、何色ものマニキュアを塗り重ねなくても美しいグラデーションができますし、独特の風合いと色彩をネイルデザインに活かしていただけたらと思います。和紙をネイルパーツとして使用していただく商品なので、特別な技術がなくても手軽にネイルアートをお楽しみいただけることも、この「かみっこネイル」の特長です。また、初心者の方でも手軽にはじめられるように、「水切り」に便利な水筆ペンとトップコート、おすすめカラーの白のベースコートをセットにしたスターターセットもご用意していますので、ぜひお試しください。

—購入されるのは、どのような方が多いですか？

当初は20代・30代の方をメインターゲットに考えていましたが、40代以上のお客さまにも購入いただいています。和紙ならではの温かみのある風合いと落ち着きのある上品な色相は、大人の女性の方にも広く受け入れていただいている印象です。

—最後に、読者に向けたメッセージをお願いします。

和紙は伝統工芸ではありますが時代とともに進化していますので、その魅力をたくさんの方に知っていただきたいと思っています。ぜひ和紙を日常生活に取り入れて楽しんでください。

初心者にも便利な 「スターターセット」も

5種類の「かみっこネイル」に加えて、爪をやさしくいたわる美容液を配合した2種類のネイルポリッシュ、奈良の老舗筆メーカー製の水筆ペンを一揃いにしたセット商品も販売中。



▲解説動画



京都 楽紙館

住所：京都市中京区三条高倉
京都文化博物館1F

TEL：075-251-0078

営業時間：11:00～17:00

休館日：毎週月曜・火曜

URL：https://www.rakushikan-store.com



全国の和紙と関連商品を 集めた和紙専門店「京都 楽紙館」

京都の歴史・文化を紹介する京都文化博物館1Fに併設された店内には、魅力的な和紙と関連商品が充実。日本各地の産地から取り寄せた約5,000点の和紙をはじめ、源氏物語をテーマにした54帖分の一筆箋やはがき、平安時代の伝統工芸「王朝継ぎ紙」の扇面箋など他店にはないオリジナル商品も豊富に揃います。



和紙専門店・京都 楽紙館のスタッフとして日常的に多くの和紙に触れ、接客を通してその魅力を発信し続ける土山遥香さん。

ISSEY MIYAKEの新作コレクションにOJO+が採用

Natural Filament Fiber
OJO+
column
vol.03

A-POC ABLE ISSEY MIYAKE 「TYPE-VI」

ステンカラーコート 165,000円
パンツ 63,800円
バケットハット 24,200円

※価格はすべて税込み

ONLINE STORE
isseymiyake.com



取り扱い店舗

A-POC ABLE ISSEY MIYAKE / AOYAMA
A-POC ABLE ISSEY MIYAKE / KYOTO
ISSEY MIYAKE GINZA / 442
ISSEY MIYAKE MARUNOUCHI
ISSEY MIYAKE SEMBA



A・P・O・C・A・B・L・E・I・S・S・E・Y
M・I・Y・A・K・Eと写真家の西野壮平氏
が協働したプロジェクト「TYPE-VI
Sohei Nishino project」
のアイテムに紙系OJO+が採用され
ています。この作品は、歩くこと、旅を
通じて得た個人的体験をもとに作品
を制作している西野氏の作品を高品
質なジャカード織りで仕立てたアイテ
ムです。

ジャガード織の服はデザイン性のあ
る柄を直接織り上げることから立体感
と高級感のある見た目に仕上がる一方、
通常のプリント生地比べて厚みが出
るため重くなり、通気性も悪いものが
大半です。しかし、A・P・O・C・A・B・L・E
「TYPE-VI」は、織糸にOJO+を
用いることでジャガード織とは思えない
ほど軽量に。衣服内の湿気を素早く吸
収し外側へ放散する優れた吸収性があ
り、快適な着心地を実現しています。

当社の本社ビル1階エントランスで
は、リバーシブル仕様のステンカラー
コートを展示中です。ぜひ、実物をご
覧いただき、その手触りや驚きの軽
さ、丈夫さをご体感ください。

INFORMATION

TSUNAGU GALLERY OJO+展

会場：KPPグループホールディングス本社
1階エントランス
(東京都中央区明石町6番24号)
来場料：無料
開館時間：9:00~17:00(平日のみ)
お問合せ：KPPグループホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション室
TEL：03-3542-4169



旅での経験や体験を通して得た記憶をもとに
作品を制作している写真家・西野壮平さん。

持続可能な社会実現に向けた、KPPグループのあくなき挑戦をご紹介します

KPP Sustainable Times

限りある資源やエネルギーを循環・再生させることは、現代社会において極めて重要な課題となっています。当社グループの使命である「循環型社会の実現に貢献する」に基づき、事業を通してサステナブルな社会づくりに貢献し、企業価値の向上を図っています。

従来品の環境負荷低減型フェイスカバーをさらに改善、 原材料の植物由来100%を実現

当社グループ会社の国際紙パルプ商事(以下:KPP)が、アパレルショ
ップで使用する紙製フェイスカバーを開発しました。フェイスカバーは、洋服を
試着する際、商品に化粧品や髪の毛が付着するのを防ぐために使用するも
のです。これまでのフェイスカバーにはポリプロピレンなどの合成繊維が多く
使用されていましたが、環境負荷低減を推進するアパレルブランドからの要
望を受け、紙素材に精通したKPPならではの知見を活かしたソリューション
を提供。装着した際の通気性や薄さを保ちながら、強度を併せ持つパルプ
100%のフェイスカバーの製品化を実現しました。

本製品はパルプ100%であることから、使用済みフェイスカバーを再生可
能な紙ごみとして廃棄することができます。一般的な不織布製に代わるサ
ステナブルなアイテムとして、環境への配慮に積極的に取り組む大手小売業
やアパレルブランドに訴求するとともに、より多くの方にご利用いただけるよ
うにPRを続けてまいります。



フェイスカバーの前面(写真
上部)は背面(写真下部)に
比べて高い通気性を実現。



INFORMATION

本製品は、KPPが運営している紙のソリューションサイト「SHIFT ON」でもご紹介しています。

SHIFT ON

<https://shifton.kpp-gr.com/>



商品に関するお問合せ

国際紙パルプ商事株式会社
マーケティング室

TEL 03-3542-6851
MAIL kpp_marketing@kpp-gr.com



「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だというのが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

第三十四回 藤井 潔

以前このコラムでテレビ演出家の大山勝美さんを取りあげたことがある。その折民放連が発行している「月刊民放」の「放送の未来に向けて」という座談シリーズの内容をめぐって大山さんと藤井潔さんの間でかなり激しいやりとりがあったことに触れた。民放業界でTBS出身者の勢力が席巻している、座談会ではその意趣返しをしたいと藤井さんがいい、この座談会がそんな偏った意思に振り回されてはかなわないと大山さんが反論して、藤井さんのレギュラー出席は沙汰やみとなった。あのことがなければ、藤井さんは日本のテレビを語るもつとも相応しい論客の一人として番組論を滔々と語られたに違いない。

かれこれ三十五年前のこと。NHKを辞めた藤井さんを紹介してくれたのはイーストの常務だった池谷誠一さんだった。たしか青山の「ダイニーズテール」という中華料理屋でだったと思う。藤井さんからの話は、これから池谷さんと一緒に新しい番組制作プロダクションを立ちあげるので協力を頼むということだった。経歴を聞くと、雑誌編集の世界からNHKの制作現場に飛びこみ、「新世界紀行」の制作を経たのち「NHK特集」の番組部長を歴任されたということだった。「ミスターN特」というあだ名で呼ばれた。代表作には「永平寺」がある。NHKを辞めるにはなにか理由があったはずだが、それは聞き洩らした。いや、聞いたけど

エーターの集団なのでこういうことはないわけではない。とくに経験が豊かでしかも己の信念を曲げることのない藤井さんのもとで仕事のやりにくいクリエイターは数多いはずだ。ネクサスから独立した藤井さんの会社がCR(クリエイティブ)ネクサスである。

当時私が仕掛けた番組の一つに「ドキュメンタリー人間劇場」がある。前任者から低迷する視聴率を引き継いだ私は、視聴率をあげようとするより視聴者の信頼を回復することが喫緊の課題と考え、結果としての視聴率の責任は私がとる、「あなた方は大人の鑑賞に耐える質の高い番組を作ってくれ」と内外の番組制作スタッフに呼びかけた。ドキュメンタリーは視聴率をとるのが難しいカテゴリとされたが、私はあえて火曜日九時、ゴールデンタイムのど真ん中で編成した。弱小局ならではの開き直りである。

忘れてしまったのかもしれない。

番組については家言あり、放送はジャーナルであるべきだ、あるいは「サムシングニュー」、クリエイティブには、ちいさくてもいい、なにか新しいものの発見や創造があるべきだということ、初対面の私に熱心に話された。彼の主張には共感するところが多く、共同制作の相手先を探したり広告主に紹介したりした。


藤井さんが新しく創立した制作会社はネクサスという名で、開発した最大の番組は三十年後のいまでも続く「開運」なんでも鑑定団だが、藤井さんとの最初の仕事は、日経新聞連載の「私の履歴書」のテレビ番組化だった。日経新聞連載記事のテレビ番組化なので、日経新聞関連会社の日経映像を制作会社として使ってほしいという依頼が新聞社の側からあり、私が入って両制作会社の仲を取りもった。

日経映像にはまだ映像制作の本格的な経験者が育っていなかった。藤井さんの知識と経験は映像制作を目指す若者たちをおおいに刺激し育成したに違いない。

二年経ってネクサスは四つのプロダクションに分裂した。個性の強いクリエイターが新しく創立した制作会社はネクサスという名で、開発した最大の番組は三十年後のいまでも続く「開運」なんでも鑑定団だが、藤井さんとの最初の仕事は、日経新聞連載の「私の履歴書」のテレビ番組化だった。日経新聞連載記事のテレビ番組化なので、日経新聞関連会社の日経映像を制作会社として使ってほしいという依頼が新聞社の側からあり、私が入って両制作会社の仲を取りもった。

その頃、藤井さんからはときどき分厚い手紙が届いた。手紙はいつも番組内容に関する真摯なものだった。なかに、「人間劇場」で彼がみずから演出を買って「最後の刻」に触れた二通の手紙が残っている。「刻」は藤井さんのこだわりで「とき」と読ませ、ガンに罹った老婦人の死に至る生き方を淡々と描いた作品だったが、評判も視聴率もよく、数々の受賞に輝いた。「(前略)今年の夏は思わぬことから演出の仕事に入り、久しぶりの感覚にたゆたっております。最近日本人の間に、静かに芽生えつつある死へのスタンスのとり方、死の迎え方の意味をやつて見ようと思ひ取材に入っています。と云つても、最後の刻を、自分の意志で、尊厳に平安に迎えようとする方々の明るさと爽やかさには、取材をしていても、帰つて来ても様々な想念が浮かびます。番組は、重く暗いものとはならないでしょう。それは明るく、しかし、奥深く、静かに、人間の尊厳が伝わってくるーそんなドキュメンタリーとなると思ひます。(中略)こうした番組の枠を保つには、二は着眼されたようにモノを持ったクリエイターを中核に据えること、そして、もう一つ極めて大切なのが、局の責任者がいつも、確固たる興味の質を堅持することだと思ひます(後略)」

昨今のテレビ番組を観るにつけ、制作者は番組を語るべきだと思ひつくづく思う。亡くなったのが二〇二二年、八十三歳だったが、「お別れの会」で聞いた長女の「家庭でも仕事の話以外聞いたことがない」という挨拶がいまだに心に残る。

著者略歴
つむら とむのね
植村 鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映を経てテレビ東京に勤務。同局常務取締役、(株)テレビ東京制作代表取締役社長等を歴任。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に「夏の岬」「気骨の人 城山三郎」など。



ふじ い きよし
藤井 潔

テレビプロデューサー
制作プロダクション経営者
1929-2012

1929年7月2日生まれ、東京都出身。慶應義塾大学卒。1959年NHKに入局。ドキュメンタリー番組のディレクターとして、「NHK特集」や「NHKスペシャル」など数々の名番組を制作。1985年NHK退局後、1988年に株式会社クリエイティブネクサスを設立。2012年逝去。享年83歳。

02 京橋朝海幼稚園・京橋築地小学校

KPPグループ本社オフィス近くにある京橋朝海幼稚園・京橋築地小学校にて展示イベントを開催しました。本イベントは子どもたちへ向けた学習の一環として企画したもので、仙台七夕飾りのほか、七夕飾りの由来を紹介するパネルを展示し、子どもたちは願い事を書いた短冊を笹に飾り付けました。また、高学年の児童には東北復興を祈願する短冊を作成してもらい、東日本大震災を知り学ぶための施設「せんだい3.11メモリアル交流館」(宮城県仙台市)にも展示していただきました。仙台七夕飾りを通して、仙台と東京の子どもたちの間に新たな交流が生まれています。



DATA 会期:6月27日(火)~7月20日(木)
会場:京橋朝海幼稚園・京橋築地小学校
(東京都中央区築地2-13-1)

03 G7仙台科学技術大臣会合



5月12日(金)~14日(日)に宮城県仙台市・秋保温泉にて「信頼に基づく、オープンで発展性のある研究エコシステムの実現」をメインテーマとしたG7仙台科学技術大臣会合が開催されました。日本の伝統や文化を紹介する催しとして、会場には鳴海屋紙商事が製造・販売しているミニ七夕飾り「浪漫竹(ロマンチック)」の制作体験ブースが設置され、G7各国代表団の方々に仙台七夕の魅力をご堪能いただきました。この「浪漫竹」は、七夕職人が本物の素材を使ってつくる小さな伝統工芸品で、鳴海屋紙商事ECサイトでもご購入いただけます。

DATA 会期:5月12日(金)~5月14日(日)
会場:宮城県仙台市・秋保温泉

▶ 仙台七夕飾りの展示イベントを開催しました

仙台七夕まつりは東北三大祭りの1つにして、伊達政宗公の時代から400年以上続く伝統行事です。例年8月6日~8日に開催され、仙台市内全域が華やかな七夕飾りで埋め尽くされる様はまさに圧巻の光景です。約3,000本の笹に取り付けられる7種類の飾りにはすべて和紙が用いられ、京の友禅和紙や越前和紙、江戸千代紙など特徴の異なる和紙を巧みに組み合わせる豪華絢爛な「紙の祭典」に、毎年200万人を超える見物客が訪れます。

当社グループ会社の鳴海屋紙商事は創業当時から紙の卸業を通じて仙台七夕飾りの制作を手掛けています。当社では、仙台七夕の魅力伝えるとともに、紙の持つ多様な魅力と表現の可能性をアピールする展示イベントを各所で行いました。各会場の様子についてレポートします。



01 銀座松竹スクエア

前号でご紹介したミュージアムタワー京橋での展示(6月16日~7月14日)に続き、7月22日から8月6日まで、銀座松竹スクエア1階エントランスホールでも仙台七夕飾りの展示を行いました。

銀座松竹スクエアは東京メトロ日比谷線東銀座駅から徒歩1分という好立地にあり、ガラス張りですタイリッシュな外観が印象的な大規模複合ビルです。七夕飾りは大きな階段のある巨大な吹き抜け空間に設置され、多くの方が座りながら風情ある景色をゆったりと愉しまれていました。

DATA 会期:7月22日(土)~8月6日(日)
会場:銀座松竹スクエア
(東京都中央区築地1-13-1)



短冊の一部は「02」でご紹介する京橋築地小学校で書かれたものも展示しました。

■展示全体に関するお問合せ

KPPグループホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション室

TEL:03-3542-4169
MAIL:kpp_cc@kpp-gr.com

メールはこちらから



■仙台七夕飾りに関するお問合せ

鳴海屋紙商事株式会社

TEL:022-235-2121
FAX:022-239-4161
https://www.narumiya-k.co.jp/



循環型ビジネスモデルを紹介する企画コーナーを設置

銀座松竹スクエアの展示イベントでは、仙台七夕に関連する展示と併せて、KPPの循環型ビジネスモデルを紹介する企画コーナーを設置。放置竹林や環境問題、リサイクルなどの社会課題解決へ向けた取り組みを紹介するとともに、王子ファイバー(株)が手掛ける紙系「OJO+」からつくられた人工芝やアパレル製品、竹やサトウキビなどの植物残渣を原料とする非プラスチック素材「modo-cell®(モドセル)」の食器などにも実際に触れていただきました。



Archishop Library & Cafe

(アーキシップ ライブラリーアンドカフェ)

神奈川県横浜市中区吉田町4-9

TEL:045-326-6611 (Archishop Studio Inc.内)

営業時間:[火曜~金曜] 13:00~18:00

[土曜・日曜・祝日] 12:00~18:00

定休日:月曜

<https://libraryandcafe.wordpress.com/>



建築事務所が街角に開いた、地域のつながりを生むプラットフォーム

JR関内駅にほど近く、こだわりのバーやカフェ、ギャラリーなどが軒を連ねる横浜市中区吉田町。赤い外壁が印象的な共同ビルの一 corner に、「アーキシップ ライブラリーアンドカフェ」があります。通りから見えるガラス張りの店内には大きな机が設置され、天井まである本棚には建築をテーマにした書籍や雑誌、アート系の作品集などがジャンルごとに整頓されています。オーナーの飯田善彦さんは、住宅から教育施設まで幅広く手掛けてきた建築家です。長い年月をかけて個人的に買い集めてきた輸入本や希少なコレクションを広く一般に開放しています。

店舗をオープンしたのは、2012年4月。その決断には、前年に起きた東日本大震災が影響しているそうです。「私が設計した福島県いわき市にある病院が津波で被災。復興の手助けを模索するなかで、地域コミュニティと連携することの重要性を改めて感じました。地域の方々とダイレクトに関わる機会を創出するために、1階をブックカフェ、2階をオフィスとして利用できるこのビルに移転し、ブックカフェを開くことにしました」(飯田さん)。

店内では、建築に関する講座や映画監督によるトークショー、読書会や演劇など幅広いイベントを開催。建築やアー

トへの興味にかかわらず、本を持参し読書を楽しみたい人やコーヒーで一息つきたい人も気軽に利用しているそうです。建築事務所が街中にひらいたブックカフェは、建築とアートをキーワードに新たな価値観と出会えるプラットフォームです。



飯田善彦さんと建築事務所のスタッフ、高橋侑里江さん。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライスインキを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



KPPグループホールディングス株式会社
KPP GROUP HOLDINGS CO., LTD.

発行:コーポレート・コミュニケーション室
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号
TEL (03) 3542-4166 (代)

<https://www.kpp-gr.com/>

TSUNAGU公式インスタグラム
ID:kpp.tsunagu

ぜひフォローを
お願いいたします!